

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・重度・重複学級・1グループ		担当者名	○荒井 かさね
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活、社会生活に必要な身近な言葉がわかり、親しむことができるようにする。 (2)人との関わりの中で「見る」「聞く」「読む」力を高め、主体的に考える力を身に付ける。 (3)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、覚えた言葉を表出する力を高める。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		3年A組教室			
年間授業時数		76 時間			
使用教科書		たべもの はっけんずかん(学研プラス)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	自己紹介	6	○絵カード等を活用し、自己紹介をすることができる。 □絵カードや手順表を見ながらカードを貼り、ポスターを作る。(知識・技能) □ポスター等を活用して、自己紹介をする。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・人物の写真カード、食べ物カード、興味のある対象物のカードを準備し、選択できるようにする。	
5	物語を読もう①	7	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、登場人物やあらすじを答える。(知識・理解) □絵カード等を活用し簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味・関心をもって聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・絵本や動画を提示し、繰り返し読み聞かせをすることで、内容を理解することができるようにする。	
6	聞いて答えよう①	9	○相手の話を注意深く聞き、口頭で伝えられた名詞が分かる。 □指示された名詞が何を指しているか聞き取る。(知識・理解) □口頭で指示された物を正しく選んで持ってくる。(思考・判断・表現) □関心をもって注意深く相手の話を聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・日常的に使用している物や生徒が興味のあるものを用いる。	
7	聞いて答えよう②	6	○相手の話を注意深く聞き、口頭で伝えられた複数の名詞が分かる。 □指示された複数の名詞が何を指しているか聞き取る。(知識・理解) □口頭で指示された物を正しく選んで持ってくる。(思考・判断・表現) □関心をもって注意深く相手の話を聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・日常的に使用している物や生徒が興味のあるものを用いる。	
9	思い出を発表しよう	8	○夏休み中の自分の気持ち、心に残ったことや学んだことを文章に表す。 □夏休み中の自分の体験を適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすいよう工夫して文章にすることができる。(思考・判断・表現) □夏休み中の自分の体験と心情をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・夏休みの記録の写真を見て、経験を想起できるようにする。	
10	気持ち・様子を表す言葉	8	○イラストや写真を見て気持ちや様子を表す言葉を選ぶことができる。 □イラストや写真を見て、当てはまる表現の言葉を書く。(知識・技能) □気持ちや様子を表す言葉を聞いて、当てはまる絵カードを選ぶ。(思考・判断・表現) □気持ちや様子を表す言葉を活用して伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・日常生活の中で、気持ちや体調を伝える時に繰り返し使い、伝える方法として定着させる。	
11	表現力を高めよう	8	○劇の内容を理解し、役の台詞(動き)を覚え表現することができる。 □劇のストーリーの読み聞かせを聞いて、自分の役割を知る。(知識・技能) □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。(主体的に学習に向かう態度)	・文化祭の劇のストーリーをスライドの映像で見る。 ・場面のBGMを流して、場面のイメージを把握できるようにする。	
12	年賀状を書こう	8	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。□感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・干支や新年の挨拶の文字の中から自分で選んで年賀状を作る。 ・自分の名前については模写やなぞり書きができるよう、枠を準備する。	
1	書写	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・あらかじめ、生徒の興味がある物の文字を提示して書きたい文字を選び、手本を提示する。 ・手本を下に置く、鉛筆で下書きをする等文字の形が分かるように提示する。	
2	物語を読もう②	6	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、登場人物やあらすじを答える。(知識・理解) □絵カード等を活用し簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・絵本や動画を提示し、繰り返し読み聞かせをすることで、内容を理解することができるようにする。	
3	1年間のまとめ	5	○3年生で学習したことを振り返る。 □高等部生活3年間中の自分の体験を、適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすく、話す方法を工夫することができる。(思考・判断・表現)□自分の体験や気持ちの変化をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・行事の写真とこれまで学習してきた気持ちのカードを使い、何の場面でどんな気持ちだったかを引き出す。	
備考		年間を通して1コマの前半は上記の単元を全体学習として取り扱い、後半は、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(自立活動の視点で設定した書字・操作課題等含む)に取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・I 類型・普通学級・2グループ		担当者名	○山本 彩美
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活、社会生活に必要な言葉について、理解し使うことができるようにする。 (2)人との関わりの中で「見る」「聞く」「読む」力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、覚えた言葉を進んで表出する力を高める。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		3年C組教室			
年間授業時数		77 時間			
使用教科書		たべもの はっけんずかん(学研プラス)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	6	○絵カード等を活用し、自己紹介をすることができる。 □絵カードや手順表を見ながらカードを貼り、ポスターを作る。(知識・技能) □ポスター等を活用して、自己紹介をする。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)		・自分で記入できる形式の自己紹介ワークシートを準備する。 ・実際に教員が発表することで手本を示す。
5	2語文の作成	7	○言葉の意味を正しく捉え、表現する。 □絵カード等、視覚的に示された課題と合った言葉を選ぶことができる。(知識・技能) □絵カード、文字カードを正しくつなげ、意味のある文章を作ることができる。(知識・技能)		・提示する絵カードや文字カードを手掛かりに、文章を作成し、プリントに記入する。
6	聞いて答えよう	9	○相手の話を注意深く聞き、口頭で伝えられた名詞が分かる。 □指示された名詞が何を指しているか聞き取る。(知識・理解) □口頭で指示された物を正しく選んで持って来る。(思考・判断・表現) □関心をもって注意深く相手の話を聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・日常生活の中での連絡事項を伝え、場所や時間などの聞き取りをゲーム形式で楽しんでいる。
7	気持ち・様子を表す言葉	6	○イラストや写真を見て気持ちや様子を表す言葉を選ぶことができる。 □イラストや写真を見て、当てはまる表現の言葉を学ぶ。(知識・技能) □気持ちや様子を表す言葉を聞いて、当てはまる絵カードを選ぶ。(思考・判断・表現) □気持ちや様子を表す言葉を活用して伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・具体物や映像を使い、自由な表現を受け止め、言葉にしていける。
9	思い出を発表しよう	8	○夏休み中の自分の気持ち、心に残ったことや学んだことを文章に表す。 □夏休み中の自分の体験を適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすい工夫して文章にすることができる。(思考・判断・表現) □夏休み中の自分の体験と心情をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・夏休みの記録の写真を見て、思い出をメモにまとめて発表する。
10	敬語で答えよう	8	○適切な敬語(丁寧語)を活用し、話すことができる。 □どのような場面で敬語を使うことがふさわしいか知る。(知識・技能) □話し言葉を丁寧語に直して話す。(思考・判断・表現) □自分から敬語を使って話そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・日常の中で、敬語を使用する場面を分かりやすくプリントにまとめ、繰り返し練習する。
11	手紙を書こう	8	○時候の挨拶について学び、相手を気遣う言葉で手紙を書くことができる。 □用件を明確にし、手紙を書く。(知識・技能) □スタンプやシールを活用しながら、工夫して手紙を書く。(思考・判断・表現) □手紙の内容について、主体的に考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・動画や具体物を用いて手紙について親しみをもつ。手紙で使う挨拶の定型文を学習する。
12	表現力を高めよう	8	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。□感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・寸劇発表の練習を通じて、台詞を覚えたり、他者に聞き取りやすい話し方を工夫したりする。
1	書写	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・好きな言葉や書きたい言葉を自分で選択し、興味・関心を深める。
2	物語を読もう	6	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせから、登場人物やあらすじを答える。(知識・理解) □絵カード等を活用し簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味・関心をもって聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・情景をスライドで見たり、文章のまとまりごとに区切ったりしながら読み進めることで理解を深める。
3	1年間のまとめ	6	○3年生で学習したことを振り返る。 □高等部生活3年間中の自分の体験を、適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすく、話す方法を工夫することができる。(思考・判断・表現)□自分の体験や気持ちの変化をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・学習発表の場を設定し、目標を明確にして繰り返し練習を行う。
備考		年間を通して1コマの前半は上記の単元を全体学習として取り扱い、後半は、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(自立活動の視点で設定した書字・操作課題等含む)に取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ 類型・ 普通学級・3グループ		担当者名	○濱 裕子
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使えるようにする。 (2)日常生活や社会生活における人との関わりの中で、話を聞いたり自ら伝える力を高める。 (3)言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、主体的に言語文化に親しむ。			
曜日・校時・時間		月曜日・6時間目・13:20～14:10 木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		3年B組教室			
年間授業時数		77 時間			
使用教科書		たべもの(はっけんずかん)[学研ぱらす]学研プラス			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	6	○自分自身のことを正しく理解し、言葉で表現する。 □自分の表現したい内容を文章にすることができる。(知識・技能) □自己紹介シートの各項目で自分なりの回答を導くことができる(思考・判断・表現) □表現したい内容を適切な言葉にしたり、伝わりやすく発表したりしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・自分で記入できる形式の自己紹介ワークシートを準備する。 ・実際に教員が発表することで手本を示す。
5	丁寧語で話そう	7	○適切な敬語(丁寧語)を活用し、話すことができる。 □どのような場面で敬語を使うことがふさわしいか知る。(知識・技能) □話し言葉を丁寧語に直して話す。(思考・判断・表現) □自分から敬語を使って話しその良さを感じようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・日常の中で、敬語を使用する場面を分かりやすくプリントにまとめ、くり返し練習する。
6	詩①	9	○詩を読む楽しさを知る。 □詩に使われている言葉の意味を正確に理解する(知識・技能) □詩のもつテーマについて、自分なりの考え、感想をもつ。(思考・判断・表現) □一つのテーマについてイメージを膨らませることの楽しさを感じようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・身近な歌や詩を選び、リズムを楽しみながら繰り返し声に出して読む。歌を聞く。
7	動詞①	6	○動詞の意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致する。(思考・判断・表現) □複数の語句の中から、あるいは文章の中から、動詞を見付けることができる。(思考・判断・表現) □日常生活の表現の中で、動詞を積極的に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・提示するイラストや画像を手掛かりにして、動きと動詞を一致させ、正しい使い方を覚えられるよう繰り返し学習する。
9	作文	8	○夏休み中の自分の気持ち、心に残ったことや学んだことを文章に表す。□夏休み中の自分の体験を適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすいよう工夫して文章にすることができる。(思考・判断・表現) □夏休み中の自分の体験と心情をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・気持ちを表す言葉を用いた例文を示し、短文で骨子をまとめる。
10	文章読解(物語)	8	○情景描写・登場人物の心情に注目し、読みを深める。 □物語の大まかな内容を把握することができる。(知識・技能) □物語の大まかな内容から、自分の感想を言葉にして表現することができる。(思考・判断・表現) □日常生活の中で、物語を読んだり聞いたりして、楽しもうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・情景をスライドで見たり、文章のまとまりごとに区切りながら読み進めることで理解を深める。
11	表現の仕方を学ぼう	8	○劇発表の内容を理解し、役の台詞、動きの意味、効果を覚える。 □舞台上で相手に伝わりやすく表現する方法を知る。(知識・技能) □自分の担当する配役について、どのような表現方法が適切であるかを考える。(思考力・判断力・表現力) □劇発表で表現することの面白さを感じている。(主体的に学習に向かう態度)		・役割演技をしながら心情を想像し、その時の気持ちを吹き出しに書いて、友達と話し合う。
12	詩②	8	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・身近な歌や詩を選び、リズムを楽しみながら繰り返し声に出して読む。 ・一つのテーマをもとに連想する言葉を書き出してみる。
1	書写	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □文字の点画である始筆、送筆(折れ、反り、曲がりなど)、終筆(止め、はね、払い)を意識して書字する。(知識・技能) □好きな言葉や抱負など習字で書きたい文字や言葉を考える。(思考・判断・表現) □習字で表現する楽しさを感じようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・好きな言葉や書きたい言葉を自分で選択し、興味・関心を深める。
2	動詞②	6	○動詞の意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □動詞の活用や、自動詞、他動詞を正しく使い分けられる。(知識・技能) □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致する。(思考・判断・表現) □日常生活の表現の中で、動詞を正しく活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・提示するイラストや画像を手掛かりにして、動きと動詞を一致させ、正しい使い方を覚えられるよう繰り返し学習する。
3	1年間のまとめ	6	○3年生で学習したことを振り返る。 □高等部生活3年間中の自分の体験を、適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすく、話す方法を工夫することができる。(思考・判断・表現)□自分の体験や気持ちの変化をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・学習発表の場を設定し、目標を明確にして繰り返し練習を行う。
備考		(年間をとおして学習する内容) 漢字、作文、言語の学習			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ類型・普通学級・4グループ		担当者名	○大和田 耕平
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に活用する。 (2)日常生活や社会生活における人との関わりの中で、自ら伝え合う力を高め、思考力や想像力を高める。 (3)言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、進んで言語文化を楽しむ。			
曜日・校時・時間		月曜日・6時間目・13:20～14:10 木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		3年D組教室			
年間授業時数		77 時間			
使用教科書		言葉図鑑（偕成社）			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	自己紹介	6	○自己紹介で伝えることを整理して伝えることができる。 □必要な項目について整理し、プリントにまとめる。(知識・技能) □自分が相手に伝えたいことを考え、発表する。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・項目を整理し、プリントに記入できるようにする。 ・発表場面ではポイントを提示するとともに、教員が見本をする。	
5	敬語の種類と使い方	7	○適切な敬語(丁寧語・尊敬語・謙譲語)を活用し、話すことができる。 □どのような場面で敬語を使うことがふさわしいか知る。(知識・技能) □話し言葉を丁寧語・尊敬語・謙譲語に直して話す。(思考・判断・表現) □自分から敬語を使って話そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・分かりやすいよう、表や視覚教材を用いて説明する。	
6	説明文	9	○説明文を読み、内容を理解する。 □辞書を使って、語句の意味調べをする。(知識・技能) □文章を読み、意味を理解して、設問に答える。(思考・判断・表現)	・日常生活に身近な説明文を主に取り上げ、生活に生かせるようにする。	
7	動詞①	6	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)	・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。	
9	助詞	8	○夏休み中の自分の気持ち、心に残ったことや学んだことを文章に表す。 □夏休み中の自分の体験を適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすいよう工夫して文章にすることができる。(思考・判断・表現) □夏休み中の自分の体験と心情をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的に分かりやすい教材を用いる。 ・日常生活で使用する助詞を中心に取り上げる。	
10	俳句	8	○適切に季語を活用し、俳句を詠むことができる。 □俳句の中の季語が分かる。(知識・技能) □自分が感じたことを、五・七・五で表現しようとしている。(思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	・季語やリズムを伝える。 ・自分の経験や感想を表現できるように、個別に質問して引き出す。	
11	動詞②	8	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)	・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。	
12	詩	8	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・身近な歌や詩を選び、リズムを楽しみながら繰り返し声に出して読む。	
1	書写(書道)	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・手本を用意し、毛筆書写のポイントを伝える。 ・書きたい文字が決まったら、手本を用意し、手本を書写する。	
2	文章読解(物語)	6	○情景描写・登場人物の心情に注目し、読みを深める。 □文章中の登場人物の言葉などを見つけ出し、文章の大まかな意味を理解しようとしている。(思考・判断・表現)	・情景をスライドで見たり、文章のまとまりごとに区切りながら読み進めることで理解を深める。	
3	1年間のまとめ	6	○3年生で学習したことを振り返る。 □高等部生活3年間の自分の体験を、適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすく、話す方法を工夫することができる。(思考・判断・表現) □自分の体験や気持ちの変化をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・1年間の学習内容をワークシートやICT機器等でふりかえる。 ・文章構成の型を提示する。	
備考		(年間をとおして学習する内容) 漢字、作文、手紙の書き方、言語の学習			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅱ類型・普通学級・5グループ		担当者名	○濱 裕子
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活、社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に活用する。 (2)日常生活、社会生活における人との関わりの中で、自ら伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、進んで身に付けた国語の力を活用する。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40 金曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		3年E組教室			
年間授業時数		73.6 時間			
使用教科書		くらしに役立つ国語(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	俳句	6	○俳句を鑑賞し、表現の工夫などについて考える。 □ICT機器を用いて春の俳句を調べ、季語や表現の方法を意欲的に学ぼうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季語を用いて、春の俳句を作ることができる。(知識・技能)	・季節の移ろいや身近な自然を感じられるように、校内を観察する時間を設ける。	
5	敬語の種類と使い方	7	○敬語の種類を知り、正しく使えるようになる。 □プリントを使ってたくさんの用例を学習する。(知識・技能) □敬語を使う場面を想定した会話のロールプレイを行い、正しい敬語の使い方について、考えようとしている。(思考・判断・表現)	・ワークシートで敬語の種類の違いを整理する。 ・自由に会話を行い、実践的に敬語を使えるように練習する。	
6	説明文	8.6	○説明文を読み、内容を理解する。 □辞書を使って、語句の意味調べをする。(知識・技能) □文章を読み、設問を理解して答える。(思考・判断・表現)	・日常生活に身近なものから、やや難解な読解まで幅広く取り扱い、生活に生かせるようにする。	
7	動詞	5	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)	・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。 ・複合動詞を効果的に使えるよう助言する。	
9	インタビュー (話を聞いて質問しよう)	8	○夏休み中の自分の気持ち、心に残ったことや学んだことを文章に表す。 □夏休み中の自分の体験を適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすいよう工夫して文章にすることができる。(思考・判断・表現) □夏休み中の自分の体験と心情をより正確に想起しようとしている。	・相手が答えやすい質問や、伝わりやすい答え方、端的であることの重要性を伝える。	
10	詩	8	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・メモを活用することで発想を広げることを助言する。	
11	表現の仕方を学ぼう	8	○文化祭の劇の内容を理解し、役の台詞を覚える。 □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・物語中の台詞や言動から人物のどんな気持ちが読み取れるか、文章中に線を引いて整理する。	
12	説明文	7	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。□感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・日常生活に身近なものから、やや難解な読解まで幅広く取り扱い、生活に生かせるようにする。	
1	書写	5	○毛筆で自分の好きな言葉や抱負を書くことができる。 □正しい姿勢と構え方で毛筆を持ち、丁寧に書く。(知識・技能) □自分の好きな言葉や抱負を考える。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・生徒の選んだ文字を全て受容しつつ、文字を選んだ理由を尋ね、決定に導く。	
2	スピーチ	7	○話の核を明確にし、事実と考えを分けて構成を考える。 □自分でテーマを設定して、スピーチ原稿を作成する。(知識・技能) ○聞き手の反応を見ながら分かりやすい話し方を工夫する。 □みんなの前でスピーチを行い、伝わりやすい内容を考えようとしている。(思考・判断・表現)	・話すテーマを頭の中で簡潔にまとめてから話すように助言する。 ・5W1Hの視点を提示する。	
3	1年間のまとめ	4	○3年生で学習したことを振り返る。 □高等部生活3年間中の自分の体験を、適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすく、話す方法を工夫することができる。(思考・判断・表現) □自分の体験や気持ちの変化をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・行事や自分の成長を振り返ることができるよう、個別に質問しながら進める。	
備考		(年間をととして学習する内容) 漢字、作文、手紙の書き方、言語の学習			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅱ類型・普通学級・6グループ		担当者名	○濱 裕子
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活、社会生活に必要な国語について、その特質を正しく理解し適切に活用する。 (2)日常生活、社会生活における人との関わりの中で、自ら伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、進んで身に付けた国語の力を活用する。			
曜日・校時・時間		月曜日・4時間目・10:45～11:35 金曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		3年F組教室			
年間授業時数		73.6 時間			
使用教科書		くらしに役立つ国語(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	俳句	6	○俳句を鑑賞し、表現の工夫などについて考える。 □ICT機器を用いて春の俳句を調べ、季語や表現の方法を意欲的に学ぼうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季語を用いて、春の俳句を作ることができる。(知識・技能)		・季節の移ろいや身近な自然を感じられるように、校内を観察する時間を設ける。
5	敬語の種類と使い方	7	○敬語の種類を知り、正しく使えるようになる。 □プリントを使ってたくさんの用例を学習する。(知識・技能) □敬語を使う場面を想定した会話のロールプレイを行い、正しい敬語の使い方について、考えようとしている。(思考・判断・表現)		・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。 ・複合動詞を効果的に使えるよう助言する。
6	説明文の読解①	8.6	○説明文を読み、段落の役割などに着目し、文章の構成を捉える。 □辞書を使って、語句の意味調べ、言葉の意味を理解する。(知識・技能) □文章を読み、設問の意味を理解して答える。(思考・判断・表現)		・日常生活に身近なものから、やや難解な読解まで幅広く取り扱い、生活に生かせるようにする。
7	物語を読む①	5	○物語文を読み、人物や情景を描いた表現に注意して作品を読み、味わう。 □辞書を使って、語句の意味調べをする。(知識・技能) □接続詞や文脈に留意して、文章の意味を理解しようとしている。(思考・判断・表現)		・物語中の台詞や言動から人物のどんな気持ちを読み取れるか、文章中に線を引いて整理する。
9	インタビュー (話を聞いて質問しよう)	8	○夏休み中の自分の気持ち、心に残ったことや学んだことを文章に表す。 □夏休み中の自分の体験を適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすいよう工夫して文章にすることができる。(思考・判断・表現) □夏休み中の自分の体験と心情をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・相手が答えやすい質問や、伝わりやすい答え方、端的であることの重要性を伝える。
10	詩	8	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・メモを活用することで発想を広げることを助言する。
11	表現の仕方を学ぼう	8	○文化祭の劇の内容を理解し、役の台詞を覚える。 □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・物語中の台詞や言動から人物のどんな気持ちを読み取れるか、文章中に線を引いて整理する。
12	説明文の読解②	7	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・日常生活に身近なものから、やや難解な読解まで幅広く取り扱い、生活に生かせるようにする。
1	書写	5	○毛筆で自分の好きな言葉や抱負を書くことができる。 □正しい姿勢と構え方で毛筆を持ち、丁寧に書く。(知識・技能) □自分の好きな言葉や抱負を考える。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・生徒の選んだ文字を全て受容する。 ・文字を選んだ理由を書き込むワークシートを用意する。
2	スピーチ	7	○話の核を明確にし、事実と考えを分けて構成を考える。 □自分でテーマを設定して、スピーチ原稿を作成する。(知識・技能) ○聞き手の反応を見ながら分かりやすい話し方を工夫する。 □みんなの前でスピーチを行い、伝わりやすい内容を考えようとしている。(思考・判断・表現)		・話すテーマを頭の中で簡潔にまとめてから話すように助言する。 ・5W1Hの視点を提示する。
3	1年間のまとめ	4	○3年生で学習したことを振り返る。 □高等部生活3年間中の自分の体験を、適切な語句を活用し文章にまとめることができる。(知識・技能) □相手に伝わりやすく、話す方法を工夫することができる。(思考・判断・表現) □自分の体験や気持ちの変化をより正確に想起しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・行事を振り返ったり、自分自身の成長を感じたりできるような設問をする。
備考		(年間を通して学習する内容) 漢字、作文、手紙の書き方、言語の学習			